



常陸太田市

議会だより

No. 116

平成21年5月8日

HITACHIOTA

発行 常陸太田市議会 責任者 議長 黒沢 義久 編集 市議会だより編集委員会
常陸太田市金井町3690番地 電話 0294(72)3111(代) FAX 0294(73)1119



OSJ奥久慈トレイル50K(4月12日)
常陸太田市竜神ダム～大子町袋田温泉間50Kmを走破

「平成21年度各会計予算」常陸太田市暴力団等排除に関する条例の制定、常陸太田市医療福祉費支給に関する条例等の一部改正」などを審議

平成21年 第1回市議会臨時会 第2回市議会定例会

第1回市議会臨時会日程

2月18日(水) 開会・議案説明(質疑・討論・採決)閉会

第2回市議会定例会日程

3月 5日(木) 開会・会期の決定・議案説明
3月 9日(月) 一般質問
3月10日(火) 一般質問
3月11日(水) 議案質疑、委員会付託
3月12日(木) 総務委員会・文教民生委員会
3月13日(金) 産業水道委員会・建設委員会
3月16日(月) 予算特別委員会
3月17日(火) 予算特別委員会
3月18日(水) 委員長報告(質疑・討論・採決)閉会

主な内容

議長あいさつ	2
第2回市議会定例会施政方針	2・3
提出議案と審査結果.....	4・5
議案質疑	5
一般質問	6～14
常任委員会の審査から.....	15
予算特別委員会.....	15
請願・陳情.....	16
議会運営委員会.....	16
議会日誌・編集後記.....	16

議長あいさつ

平成二十一年度の常陸太田市議会だより」の発行に当たり、議会を代表いたしました「こあいさつ」を申し上げます。

市民の皆様方には、日頃から市議会に対する深いご理解と市政に対するご支援とご協力をいただき心から感謝を申し上げます。

第一回臨時会は2月18日に行われ、地方債を繰上償還する

専決処分承認を求める報告5件、常陸太田駅舎等整備業務に係る平成二十年度一般会計補正予算1件の計6件を審議いたしました。

第二回定例会は3月5日から18日までの会期により、峰山中学校校舎建築、妊婦委託健康診査の拡大、医療費助成の拡

大、高齢者に対する人間ドック・脳ドック健診助成などを盛り込んだ平成二十一年度各会計予算等39件について審議を行いました。

また、一般質問では、9名の議員が質問に立ち、施政方針や行財政、教育、福祉など市政全般にわたり活発な議論が交わされました。

私も議決機関といたしましては、議会に与えられた機能を十分に生かしながら、市民の視点で考え行動し、市民の皆様の期待に応えるため鋭意努力してまいります。

結びに、市民の皆様方の益々のご健勝を心からお祈り申し上げます。



黒沢 義久 議長



施政方針を述べる
大久保太一市長

平成21年度の重点戦略

「ストップ少子化若者定住」として、不妊治療費助成や子育て家庭への支援のため乳児おむつ購入費助成、妊婦委託健康診査の拡充、小学校3年生までの医療費助成を中学3年生まで拡大するとともに、若者定住を図るため、企

第二回市議会定例会

平成二十一年度施政方針（要旨）

三月五日開会の平成二十一年度第二回市議会定例会において、大久保太一市長は、平成二十一年度の「施政方針」を明らかにしました。その要旨を紹介します。

業誘致を促進します。

「みんなで支える未来を拓く人づくり」として、小学校3校への図書館司書の配置や峰山中学校校舎建設などを推進します。また、健康づくりと体力向上のきつかけづくりとして、市民参加型スポーツイベント「チャレンジデー2009」などを実施いたします。

「高齢者生きがい元気づくり」として

て、成年後見制度利用支援事業の実施や、高齢者の健康づくりのため、引き続き健康診査・保健指導の推進や高齢者の人間ドック・脳ドック健診に対する助成などを行うとともに、生きがい活動の推進を図ってまいります。

「あったかコミュニティが育む住み

よい環境づくり」として、町会活動支

援交付金の創設や市民提案型まちづくり事業の拡充、地域づくりを応援する地域担当職員の導入などを実施してまいります。また、環境基本計画や地球温暖化防止対策地域推進計画に基づき、温室効果ガス排出抑制のため、地球温暖化防止対策に総合的、計画的に

取り組みます。

「総合的な公共交通の整備」として、市民生活における移動手段の確保、J R常陸太田駅周辺整備事業や広域的幹線道路整備などを推進いたします。

「人と地域の元気づくり」として、朝市などによる地場産物の消費拡大や地域の特色を活かした産地作りなどの地産地消を推進。エコミュージウム活動により地域資源を活かしたまちづくりを進めるとともに、都市住民との交流拡大を図るなど、地域の元気づくりに取り組んでまいります。

平成21年度予算概要

一般会計は228億9600万円、前年度より1.1%の減であります。しかしながら、人件費、公債費など合計3億9800万円の減額となっており、これらを加味いたしますと住民サービス経費は実質1億3500万円程度の増額となります。特別会計、企業会計を含めた各会計の予算を合計いたしますと、389億2811万6千円で、2.7%の減となっております。

平成21年度一般会計主要事業

行政力改革

・市民提案型まちづくり補助事業【継続】
・市民団体及びグループ等が主体的に企画実施する事業への補助を行い、市民協

働のまちづくりを推進

・町会活動支援交付金【新規】 512万9千円
・地域コミュニティ推進活動などへの支援として1町会10万円交付 1440万円

・まちづくり振興基金積立金【継続】 4440万円
・地域振興を図るための基金積立 5億2000万円

・議会中継配信事業【新規】
・インターネットによる議会中継 761万7千円

・バスポート窓口開設事業【新規】
・市民課窓口へバスポート窓口を開設 46万2千円

輝く人づくり

・医療費助成事業【拡充】
・小学校3年生までの医療費助成を中学校3年生まで拡大 7044万2千円

・不妊治療費助成事業【新規】
・不妊治療費用の一部助成 240万円

・乳児おむつ購入費助成事業【新規】
・乳児のおむつ購入費の一部助成 540万円

・妊婦委託健康診査事業【拡充】
・妊婦健康診査を5回から14回に拡充 1912万5千円

・学校図書館司書配置事業【新規】
・学校図書館への専任司書配置3校予定 112万6千円

・峰山中学校校舎建築事業【継続】
・20年度、23年度 仮設倉庫設置、既存北側校舎改造、既存南側管理棟・特別教室棟解体、校舎改築 4億4082万2千円

・総合型地域スポーツクラブ育成支援事業【新規】
・総合型地域スポーツクラブ運営費補助 100万円

・常陸太田市チャレンジデー実施事業【新規】
・チャレンジデー2009参加 72万円

安らぎのある快適環境づくり

・人間ドック・脳ドック健診助成事業【継続】
・後期高齢者に対し人間ドック・脳ドックの健康診査受診費用の一部助成 179万6千円

・介護保険特別会計繰出金【継続】
・介護給付費繰出、地域支援事業繰出等 7億2490万4千円

・国民健康保険特別会計繰出金【継続】
・保険基金安定事業繰出、国保財政安定化支援繰出、資金収支不足額繰出等 5億1050万4千円

・後期高齢者医療特別会計繰出金【継続】
・75歳以上の高齢者に対する特別会計の創設 1億5653万3千円

・磯部町団地建設事業【継続】
・木造平屋建4棟15戸の建設 1億9046万6千円

・簡易水道事業特別会計繰出金【継続】
・里川凝集沈殿設備設置工事 1億5185万8千円

・下水道事業特別会計繰出金【継続】
・公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業 6億5436万5千円

・環境保全大会開催事業【新規】
・環境都市宣言、地球温暖化対策地域振興計画の実践発表等 71万4千円

・駅周辺整備事業【継続】
・駅舎整備、市道改良 4億5975万2千円

・木造住宅耐震診断士派遣事業【新規】
・耐震診断を受ける木造住宅所有者への耐震診断士派遣 96万円

・まちの元気づくり
・森林機能緊急回復整備事業【継続】
・間伐160%作業道整備4400m 7437万2千円

・木造住宅建築等助成事業【継続】

地域材使用住宅の建築経費一部助成 510万円

・水戸徳川家墓所保存管理計画策定事業【継続】
・墓所保存管理計画の策定 218万9千円

・地産地消推進事業【継続】
・朝市の開催、食のフランド化、地産地消応援隊・推進店登録・マップ作成推進 1883万4千円

・各種イベント補助事業【継続】
・太田まつり、常陸秋そばフェスティバル、鯉のぼりまつり等イベント補助など 2630万円

・エコミュージウム活動推進事業【継続】
・地域資源を活用した地域作り活動の支援、地域資源への誘導板・開設板等の整備、地域交流探索会、エコミュージウムフォーラム、エコミュージウム展など 377万5千円

・にぎわい交流推進事業【継続】
・都市との交流体制の整備、常陸太田市ツーリズムビジネス創出事業等 272万4千円

・姉妹都市交流事業【継続】
・秋田市・仙北市三市連携交流事業、牛久市交流事業 310万4千円

・市有林現況調査事業【新規】
・金砂郷地区・里美地区・水府地区の一部の現況調査（緊急雇用創出事業） 238万7千円

・不法投棄廃棄物除去事業【新規】
・不法投棄ごみ現況調査・回収処分等（緊急雇用創出事業） 1461万3千円

・常陸太田市魅力アップにぎわい交流推進業務・観光土産品販売促進戦略研究業務【新規】
・観光振興イベントの企画運営、常陸太田大好き応援クラブシステム運営事業等 1566万7千円

提出議案と審査結果

議案番号	件名	付託された委員会	審査結果
報告第1号	専決処分承認(平成20年度常陸太田市一般会計補正予算(第6号))	(本会議)	原案承認
報告第2号	専決処分承認(平成20年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算(第4号))	(本会議)	原案承認
報告第3号	専決処分承認(平成20年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号))	(本会議)	原案承認
報告第4号	専決処分承認(平成20年度常陸太田市水道事業会計補正予算(第3号))	(本会議)	原案承認
報告第5号	専決処分の承認を求めることについて(平成20年度常陸太田市工業用水道事業会計補正予算(第3号))	(本会議)	原案承認
議案第1号	平成20年度常陸太田市一般会計補正予算(第7号)について	(本会議)	原案可決
議案第2号	常陸太田市公共施設の暴力団等排除に関する条例の制定について	総務委員会	原案可決
議案第3号	常陸太田市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例等の制定について	文教民生委員会	原案可決
議案第4号	常陸太田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正について	総務委員会	原案可決
議案第5号	常陸太田市職員の旅費に関する条例等の一部改正について	総務委員会	原案可決
議案第6号	常陸太田市個人情報保護条例の一部改正について	総務委員会	原案可決
議案第7号	常陸太田市国民健康保険条例の一部改正について	文教民生委員会	原案可決
議案第8号	常陸太田市医療福祉費支給に関する条例の一部改正について	文教民生委員会	原案可決
議案第9号	常陸太田市介護保険条例の一部改正について	文教民生委員会	原案可決
議案第10号	常陸太田市手数料条例の一部改正について	総務委員会	原案可決
議案第11号	常陸太田市公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	文教民生委員会	原案可決
議案第12号	常陸太田市学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	文教民生委員会	原案可決
議案第13号	常陸太田市金砂郷地区まちづくり基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止について	総務委員会	原案可決
議案第14号	水郡線常陸太田駅改良工事全体委託契約の締結について	建設委員会	原案可決
議案第15号	水郡線常陸太田駅改良工事平成21年度委託契約の締結について	建設委員会	原案可決
議案第16号	常陸太田市道路線の変更について	建設委員会	原案可決
議案第17号	常陸太田市道路線の認定について	建設委員会	原案可決
議案第18号	平成20年度常陸太田市一般会計補正予算(第8号)について	総務委員会	原案可決
議案第19号	平成20年度常陸太田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	文教民生委員会	原案可決
議案第20号	平成20年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	文教民生委員会	原案可決
議案第21号	平成20年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第3号)について	文教民生委員会	原案可決
議案第22号	平成20年度常陸太田市下水道事業特別会計補正予算(第5号)について	建設委員会	原案可決
議案第23号	平成20年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	建設委員会	原案可決
議案第24号	平成20年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計補正予算(第3号)について	建設委員会	原案可決
議案第25号	平成20年度常陸太田市宅地分譲事業特別会計補正予算(第1号)について	建設委員会	原案可決
議案第26号	平成20年度常陸太田市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)について	産業水道委員会	原案可決
議案第27号	平成21年度常陸太田市一般会計予算について	予算特別委員会	原案可決
議案第28号	平成21年度常陸太田市国民健康保険特別会計予算について	予算特別委員会	原案可決
議案第29号	平成21年度常陸太田市老人保険特別会計予算について	予算特別委員会	原案可決

議案第40号	議案第39号	議案第38号	議案第37号	議案第36号	議案第35号	議案第34号	議案第33号	議案第32号	議案第31号	議案第30号	議案第29号
平成20年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計補正予算(第4号)について	常陸太田市教育委員会委員の任命について	常陸太田市教育委員会委員の任命について	平成21年度常陸太田市工業用水道事業会計予算について	平成21年度常陸太田市水道事業会計予算について	平成21年度常陸太田市宅地分譲事業特別会計予算について	平成21年度常陸太田市簡易水道事業特別会計予算について	平成21年度常陸太田市戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計予算について	平成21年度常陸太田市農業集落排水事業特別会計予算について	平成21年度常陸太田市下水道事業特別会計予算について	平成21年度常陸太田市介護保険特別会計予算について	平成21年度常陸太田市後期高齢者医療特別会計予算について
(本会議)	(本会議)	(本会議)	(本会議)	(本会議)	(本会議)	(本会議)	(本会議)	(本会議)	(本会議)	(本会議)	(本会議)
原案可決	原案同意	原案同意	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決

議案質疑(2月臨時会)

問 報告第2号下水道事業特別会計補正予算の中で、借換えによる繰り上げ償還の利益効果について伺いたい。

建設部長 旧運用部資金の借入金3億8906万7000円を前年度繰越金と公営企業借換債を財源とし繰上償還するもので、借換債の利率である年利2.1%という条件で試算した場合、支払い利息は4154万1000円となり、差し引き約1億3241万7000円の利息負担が軽減されるものである。

議案質疑(3月定例会)

問 議案第26号一般会計予算の中で市債の依存度が10%を超える県内の市は半数以下だと思いが、本市の市債の依存度は10.9%である。市債依存度が10%を超えることについてどう考えているのか伺いたい。

総務部長 平成21年度当初予算における市債は25億円であり、予算に占める割合は10.9%である。この計上には地方財政計画の地方債依存度14.3%を指針とするとともに、本市の元金償還額29億7000万円の85%以内とした。市債は平成17年度以降、極力抑制して予算計上しており、16年度末の314億円から平成

成19年度末には278億円、平成21年度末には265億円となる見込みである。今年度計上したすべての市債は交付税に算入されるもので、特に算入率の高い過疎対策事業債や合併特例債を中心に活用して計上した。

問 議案第18号一般会計補正予算の中で、里美中学校屋内運動場屋根改修工事の内容と建て替えの時期との関係について伺いたい。

教育次長 里美中学校の屋内運動

場はこれまでも屋根の部分補修を行ってきたところだが、雨漏りを止めることは出来ず、授業・部活に支障をきたしている。早期の対策が必要であり、今回の補正により屋根の全面的改修防水工事を行うものである。教育委員会としては市耐震改修促進計画に基づく耐震補強工事を優先的に行う予定であり、改築については耐震化工事を進める中で検討する。

一 般 質 問

平成21年第2回市議会定例会の一般質問では、9名の議員が登壇しました。(次ページから掲載)



立原正一 議員

1 市長施政方針について

Q 施政方針の中で、「若者定住を図るため企業誘致を促進する」と述べられているが現状と対策について伺いたい。

また、市民の地域活動への支援として地域活性化を図るため「町会活動支援交付金」の創設や地域コミュニティ支援と職員の意識向上を図るため「地域担当職員」の導入を進めると述べているが、施策の考え方について伺いたい。

A 市長 若者定住を図るための施策としては企業誘致だけではなく「ストップ少子化若者定住」戦略の中で、中学生までの医療費助成の拡大など、子育て支援施策を充実し、子育て世代や若者世代向け市営住宅の建設などの若者定住施策と併せて、就業の場の確保として企業誘致も重要であることから進めているも

のである。

なお、これまでの企業誘致活動においては、5社の立地が決定しており、成果が出ているものと考えている。

ただし、現下の経済情勢の悪化の中で、工場建設等が足踏み状態にあるのも事実であるので引き続き、誘致活動を進めるとともに、立地を決定した企業のフォローアップ等についても力を入れて進めてまいりたい。

町会活動支援交付金については、市の非常勤特別職報酬検討会の答申等を受けて、地域コミュニティの核である町会の地域活性化活動に対して、新たな支援を行うものである。

具体的には、生活環境をよくする活動、地域を元気にする活動、地域福祉の活動、安全・安心な地域づくりの活動、世代間・地域間交流活動、地域コミュニティ推進活動などに対して、地域活性化や地域振興に寄与することを目的として創設をしたものである。

地域担当職員の導入目的については、職員が一地域住民として、地域コミュニティの活性化や町会長を初め地域活動に携わる方々と連携・協力し、地域活動の手助けを行い、地域づくりを応援するとともに、行政の課題としてとらえ、職員の意識を変えていくことが一番の目的であると考えている。

2 財政健全化の状況について

Q 人口減少や景気の低迷から法人市民税の落ち込みなど、地方財政を取り巻く環境が一段と厳しい状況にあるが、平成19年度決算から一般会計や公営企業一部事務組合などの健全化判断比率を公表することとなったが、当市の健全化判断比率の状況と早期健全化団体にならないための施策について伺いたい。

A 総務部長 公共団体の財政の健全化に関する法律の施行により、本市でも健全化判断比率を昨年9月の議会に報告するとともに、広報紙やホームページにより公表したところである。

平成19年度決算に基づく健全化判断比率の実質赤字比率は、実質収支が黒字決算であるので該当していない。これに係る早期健全化基準値は12・73%、財政再生基準値は20%となっている。

また、連結実質赤字比率は、すべての会計で赤字額、または資金不足額が生じてないので、同じく該当がない。これに係る早期健全化基準値

は17・73%、再生基準値は、30%となっている。

また、実質公債費比率は、14・2%で、早期健全化基準値の25%、再生基準値の30%を下回っている。また、将来負担比率は、91・7%であり、早期健全化基準値の350%を大きく下回っている。なお、将来負担比率に関しての再生基準はない。

平成19年度の決算における本市の財政指標はいずれも基準値を下回っているため、現在のところ、本市が財政再生団体、あるいは早期健全化団体となる可能性は極めて低いものと認識している。

なお、早期健全化団体にならないための施策は、引き続き市債の発行を抑制するとともに、行財政改革の着実な実行により経費の削減に努め、財政の健全化を維持してまいりたい。

【立原議員 他の質問事項】

- ・常陸太田市再生について
- ・都市計画推進の現状と里川西部土地改良整備事業終了後の土地利用法について
- ・宮の郷工業団地、岡田工業団地の運営状況について
- ・常陸太田駅周辺整備事業等について



木村郁郎 議員

1 耕作放棄地解消対策について

Q 食料供給力強化のための農地の確保と、その最大限の有効利用を促すため、また、地域におけるさまざまな問題の発生を解消するために、市内すべての耕作放棄地を対象として調査を実施しているが、全体調査の進捗状況及び解消計画策定状況について伺いたい。

さらに、耕作放棄地を再生して営農を再開しようとしている農業者の方々に対し、国とともに市として応分の費用負担をして支援することについて伺いたい。

A 産業部長 耕作放棄地の全体調査と解消計画の策定が義務付けられ、現在、農業委員会とともに、小字単位で1筆ごとの現地確認と合わせ、写真撮影などによる耕作放棄地

全体調査を実施している。解消計画の策定については、既存の担い手育成総合支援協議会を活用した組織の設立を進めてまいりたい。なお、規約は県の承認が必要のため、現在、その内容について協議を進めているところである。また、調査完了地区ごとに説明会を実施し、計画策定の目的、内容等を説明し、地区の実情に見合った計画づくりを行い、全地区完了時に全体計画をまとめ上げる内容で検討・協議をしているところである。

耕作放棄地再生利用緊急対策交付金とあわせて市独自の上乗せ措置については、耕作放棄地の解消には永年的な利用が図られることが大切であり、当該交付対象事業を総合的に推進するとともに、地産地消の推進による農業に従事する方の耕作意欲の向上及び都市部との交流を図るためのオーナー制の拡大や、新規就農者の定着が必要であると考えており、地域の特性を生かした営農の定着並びにエコ農業の推進も含めた交付などを早急に検討してまいりたい。

2 スポーツ環境の充実について

Q 市内の体育施設は、老朽化・劣化が見受けられる。計画的な

改修・整備を望む立場から、施設整備について現状の課題と今後の整備計画について、特に山吹運動公園体育館の改修と白羽スポーツ広場の芝生の養生について、施設管理の考えを伺いたい。

また、少年サッカー、少年野球施設の土・日曜日は、茨城スポーツ施設予約システムで予約可能な期日までに、すぐに予約済みとなってしまう状況にある。市内の方の同時予約であれば、話し合いによって決めることがよいと思うが、市内の方と市外の方との場合には、利用料に違いを設けているように、予約の競合が事前に避けられるような仕組みや市民利用の利便性を高める市民優先予約についての考えを伺いたい。

A 教育長 市内には、25の社会体育施設があり、その中で最も古い施設は、昭和49年に建設された山吹運動公園の水泳プールで、最も新しい施設は、平成15年に建設された温水プールとなっている。社会体育施設であってもそれぞれの施設機能が異なることから、特に老朽化の進んでいる施設に対し、年次計画的に修繕・改修工事を行っているところで

あり、平成21年度には山吹運動公園弓道場の屋根改修工事や市民体育館の床及び内壁塗り替え工事を行う。

また、社会体育施設の芝生は現在6力所あるが、すべて養生期間を設けずに目的に応じた利用に供している。特に白羽スポーツ広場のサッカー場は、スポーツの性質上、芝生の傷みが激しい状況にある。芝生を良好な状態に保つには、毎年6カ月間程度の養生期間を設ける必要があるが、利用者の希望が多く、養生期間を設けることへの理解を得ることができない状況にあり、今後は、利用者の意見を聴取しながら養生期間を設けるよう努めてまいりたい。それが不可能な状況であれば、他の方法も検討してまいりたい。

施設の予約は、市民を優先する予約方法として抽選予約があり、市内在住の方でID登録をしていれば、使用日の2カ月前の月の1日から10日の間に予約をすることができる。市内在住の方に限り、同じ日を市内在住の方が重複して予約した場合、茨城スポーツ施設予約システムが自動的に抽選してくれる予約方法である。また、市内の団体が大会等で使用する場合は、通常予約開始日以前から文書で受付けを行っている。



深谷 渉 議員

1 食料自給率向上に向けた取り組みについて

Q 農水省の食料自給力・自給率工程表に対する見解と具体的な内容を伺いたい。また、その中から、本市で今後強化していく重点取り組みについても伺いたい。

A 次に、農水省が発表した農地改革プランを、本市ではどのように有効活用ができ、効果が予想されるか、この農地改革プランに対する本市の見解を伺いたい。

次に、本市における耕作放棄地再生利用緊急対策交付金の利用促進と、利用対象者のさらなるバックアップはどのように考えているのか伺いたい。

A 産業部長 食料自給力・自給率工程表については、国内農業の食料自給力の強化と食育の推進による消費と生産両面の取り組みにより、10

年後において、食料自給率50%を達成するイメージと取り組み事項を作成したもので、耕作放棄地解消及び飼料用米の普及拡大については、当市農業施策の方向性にも合致するものであり、制度等を積極的に取り入れ、自給力の向上を図ってまいりたい。

重点取り組みとして、地産地消推進事業においてブランド化を進めているソバの生産量拡大を推進するため、耕作放棄地の有効利用を進めるとともに、耕畜連携による新規需要米である飼料用米の作付拡大を進めるなど、地域の実情に即し、農業従事者がより有利な補助等が受けられる体制づくりを進め、水田の有効利用を図ってまいりたい。

農地改革プランについては、現在常陸太田市が課題とする農業従事者の減少並びに耕作放棄地の増加等による農地の荒廃に歯止めをかけるものとしては有効であり、国の施策に基づき、市内の農地の確保を図るため、市農業委員会との連携・強化に努めながら、市内外の企業等へ農業への参入の促し等により、農地の有効活用を図ってまいりたい。

耕作放棄地再生利用緊急対策交付金については、制度の積極的な利用を図るため、より効率的かつ効果的な当市の実情に合った計画策定と体制づくりに努めてまいりたい。

2 学校教育環境について

Q 学校関連の地上デジタルテレビ放送に対応するテレビを計画的に整備すべきと思うが、その考えと整備計画を伺いたい。

また、平成19年3月定例会で、国で定めた学校図書館図書標準の達成率にかなりばらつきがあることを指摘し、あれから2年が過ぎようとしているが、現在の達成率について伺いたい。

3名の専任司書配置とあるが、どの学校に、どのような勤務体系で配置するのか、具体的に伺いたい。また、この専任司書に対して、どのような活動を期待し、次年度へいかなる展開をされるのか伺いたい。

A 教育長 地上デジタルテレビ放送の対応については、各学校の状況を調査し、テレビの使用状況等を踏まえながら、必要なテレビについてはデジタルテレビの購入、デジタルチューナーの設置を進めていく。補助制度については、安全・安心な学校づくり交付金の中で、学校施設のデジタル化としてアンテナ設置や配線工事が認められる見込みであるが、デジタルテレビ本体やデジタルチューナー等端

末の購入費は認められないため、今後補助の内容を十分検討の上、利用できる部分には活用してまいりたい。

学校図書館の図書標準を満たしていない学校は現在、小学校6校、中学校4校である。21年度図書購入予算を小学校680万円、中学校700万円を計上しており、蔵書数の少ない学校に重点的に配分し、図書標準の達成に努めてまいりたい。

学校図書館への専任司書の配置は、図書館司書の資格を有する者を臨時職員として雇用し、小学校3校に試行的に配置するものである。

配置する学校としては、各学校の図書館の現状を調査の上、大規模中規模、小規模の学校からそれぞれ1校ずつをモデル校として選定し、1日4時間、週2日から3日勤務させる予定である。専任司書は図書を整備や貸し出し、司書教諭の指示による児童の読書相談等の業務に従事する予定であり、児童の図書館利用の状況や読書活動に対する意識の変化等を検証し、これらの結果を踏まえながら他の学校への配置についても検討してまいりたい。

【深谷渉議員 他の質問事項】
 ・国の75兆円の経済対策と本市の取り組みについて
 ・鳥獣被害防止特措法について



平山晶邦 議員

1 市内の今後の公共交通
(路線バス・市民バス・
デマンド交通・水郡線)
のあり方について

Q 人口減少による地域の活性化が失われたときに重要な要素になるのが公共交通のあり方であると思っっている。全国的に見ても公共交通機関のあり方は、大変難しい状況であることは理解している。しかし、ある程度のコストをかけたも、全国に先駆けた公共交通機関の整備を行っていく必要があると考えている。

市民バスと乗り合いタクシーの運行はどのような状況になっっているのか。本格的なデマンド交通システム等についての考えを持ち得ているのか。今後それらを融合させ、常陸太田市に合った公共交通体系をどのように考えているのか伺いたい。

また、人口減少の問題を考える

と、水郡線の今後の活用についてJR東日本やバス運行管理者と共に検討すべきと考えるが見解を伺いたい。

A 政策企画部長 広い面積を有する中で、地域の活性化やまちづくりを進めていくには、地域をつなぐ公共交通機関が重要な要素になってくるものと考えている。平成19年に地域公共交通計画を策定し、路線バスについては基幹交通と位置付け、存続の必要なものについては財政支援を行い維持することとしている。また、これを補完するものとして、現在計画に基づき、市民バスと予約型乗合タクシーを運行しているところである。運行に当たっては、検証をしながら見直しを行っているところであるが、デマンド交通システムなどの新しい交通システムについても各地で動き始めており、総合的な公共交通システムの研究・検討を行ってまいりたい。

また、水郡線は、本市と那珂市、水戸市を結ぶ重要な鉄道であり、市のイメージ、まちの活性化とあわせて、通勤・通学の手段として欠かすことのできないものとなっている。このようなことから、茨城県及び沿線市町により設置をしている水郡線利用促進会議において、JR東日本水戸支社及び東京本社に対し、運行

本数や車両数の増などの輸送力の改善、スピードアップ、常磐線との接続の改善について要望活動を実施している。さらに、茨城県、沿線市町、JR水戸支社、バス事業者、観光協会等をメンバーとする水郡線活性化対策研究会において、活性化対策等の検討を行っているところであり、本市独自の活動としても、沿線住民など地域の皆様とも連携し、利用促進を図ってまいりたい。

2 常陸太田市の今後の
IT・情報化対策につ
いて

Q 情報システムは、住民の問い合わせに迅速に対応しなければならぬし、住民の利便性の向上や役所内部業務の効率化などに、きめ細かに対応できるシステムが求められている中で、平成20年6月作成した第2次情報化計画を職員が共有して、担当課は真剣に検討を進めていたきたい。

また、この計画を実行に移す予算の裏付けも必要ではないか。

さらに、ITの活用としては、自治体に提出する申請・届出の手続をオンライン化して、自宅や会社からでも行える電子申請

システムの整備やインターネットを通じて、税金や公共料金の電子決済インフラのマルチペイメントネットワークの活用、法人市民税、固定資産税を電子申告で行う電算システムなど、面積が広い本市においては取り組まなければならない重要な対策だと考えるが、今後のIT情報化対策について伺いたい。

A 政策企画部長 昨年6月に、市民一人ひとりが情報化の恩恵を享受でき、安全で安心して快適に暮らすことのできる社会の実現を目標とする、今後5年間の情報化施策の方向性を示す第2次情報化計画を策定して、市民の情報格差の是正や、ITを活用した市民サービス向上など、20の施策を推進することとしている。現在、ITを活用した電子申請システムの整備・拡充に努めるとともに、マルチペイメントの導入に向けた検討、電子申告の計画的な導入の検討など具体的な取り組みを始めているところである。今後、庁内の関係各課長で構成する情報化推進委員会において、定期的に各施策の進行状況を評価するとともに、各課等に推進委員を配置して計画を推進するなど、目標実現に取り組んでまいりたい。



山口恒男 議員

1 新年度事業について

Q 新年度において、新規、継続、拡充する事業で特に配慮をした事業を伺いたい。

次に、ドクターヘリによる救急体制の取り組みと、地球温暖化対策として、新エネルギーへの助成や補助などの必要性があると思うが如何か。

また、子育て支援における支援センター以外に親子が安心して集まれる身近な場づくりとして、児童館、キッズルーム等の設置も必要と考え、施設の有効活用として設置をできないか。

さらに、新宿町の生産緑地地区指定への作業の概要など、今後のスケジュールを伺いたい。

A 市長 特に配慮した事業として、中学3年生までの医療費助成の拡充、おむつ購入費の助成、不妊治療費の助成、小学校への図書館司書

の配置、峰山中学校校舎の建設などを予算化した。雇用対策としては、市有林現況調査事業、不法投棄廃棄物除去事業、観光情報魅力アップにぎわい交流推進事業等々である。また、ドクターヘリによる救急体制の取り組みについては、県としては検討していくということであるので、状況を注視してまいりたい。

新エネルギーへの助成、補助については、市民及び事業者の意識高揚を図るため、国等の補助制度を活用した独自の助成制度を検討してまいりたい。また、市役所として地球温暖化防止実行計画を策定しており、省エネ省資源化を目指す行動に心がけて、削減努力目標に向け、職員一丸となった取り組みを行ってまいりたい。

子育て支援における支援センター以外に親子が安心して集まれる身近な場所づくりについては、既に総合福祉会館、公民館等で毎週のように保育園の子育て支援センターの事業等にも地域の親子にかかわっていただいているが、さらに子どもたちが健やかに育ちながら仲間づくりや楽しみを感じられる環境づくりのために、安心して利用しやすい施設、地域との協働、子育てに関する支援、協力者等の体制づくり、運営方法などについて検討を進めてまいりたい。

A 建設部長 生産緑地指定に向けた作業内容とスケジュールは、5月ごろに地元説明会を開催し、現地調査などに着手し、夏ごろには改めて指定に向けた地元説明会を開催するとともに、地権者の皆様の意向を個別に確認していく。その後、指定する区域の計画案を作成して、関係機関との協議を行い平成21年度の指

定を目指したい。

所見を伺いたい。

A 教育長 山吹運動公園内を業者の車両が通行していることについては、今日までスポーツをしている方の安全面を配慮し、通行するよう指導してきている。引き続き社会体育施設を利用する方の安心・安全の面から、スポーツの利用者の少ないとき等に通行するよう指導してまいりたい。

2 山吹運動公園について

Q 山吹運動公園内を業者の車両が通行している状況に対し、現在までの対応と今後の対処について伺いたい。

また、少年野球場利用者の多くは源氏川堤防上に駐車しており、車道にはみ出している光景を目にしている。この付近はカーブとなつているため、通行者にとって危険な箇所となっている。

また、安全のためにも隣接の駐車スペースの新設を望むが、対応はどのようにされているのか伺いたい。

さらに、運動公園の定休日開放については、夏休みや冬休みなど、子どもと一緒に遊べる機会が多い季節での開放を望むが、

少年野球場は年間通して常陸太田リトルリーグが利用している状況にあり、普通車67台分のスペースを少年野球場の西側に用意してある。しかし、利用者が野球場に近い源氏川の堤防上に駐車している状況にあり、道路横断等危険が伴うので、危険防止の面からも今後リトルリーグ代表の方及び父兄の方に所定の駐車場に駐車するよう、強く指導してまいりたい。

社会体育施設は、市民の多くの方が健康づくり、体力づくりのために利用されている。当市の社会体育施設は、毎週火曜日から日曜日までが開館となっており、月曜日は定休日となっている。月曜日が祝日の場合、翌日を休館とし、週6日間開館をしている。また、公的及びそれに準ずるものについては、休館日を開館としており、毎週月曜日の開館については考えていない。



菊池伸也 議員

1 地域担当職員の配置について

Q 地域担当制度の具体的な内容と運営方法及び市職員の認識と対応について伺いたい。

また、町会長連絡協議会へはいつ説明したのか。職員には理解を求めたのか。さらに、制度の意義と行政上どのような効果を期待しているのか伺いたい。

A 市民生活部長 市政運営として「市民協働のまちづくり」を進めているところであり、職員が一地域住民として、地域コミュニティの活性化や、町会長を初め地域活動に携わる方々と連携・協力し地域活動のサポートを行い、地域づくりを応援する地域担当職員の配置を検討している。対応としては、全職員が地域行事、地域活動、イベントなどへ積極的に参加をしていく。内容としては、町会長との連絡調整を行うこと

を基本とし、出身地の職員が担当となり、行政情報や国・県、あるいは民間資金の補助制度の情報提供、市の主な事業や関係事業についての情報提供を行う職員として、各町会に1人ずつ責任担当者を配置する考えである。

各地区の町会長協議会には、今年1月から概要説明を行ってきており、概要については概ね了承をいただいているが、引き続き町会長連合会、あるいは各地区町会協議会等々と十分調整・協議を進め、また、職員の地区単位での説明会等を開催し、職員の理解と意識の向上を図りながら、地域づくりに参加できる仕組みを整えてまいりたい。

制度の効果については、職員が一住民として地域活動に参加し、ともに行動し、汗を流し、そして現場の空気を知り、それを行政課題としてとらえていくことが何より大切であり、職員の意識の向上が一番の目的である。

2 市職員の適正な人事異動と管理職任用及び降格制度について

Q 市民と直接かかわる機会の多い窓口業務においては、職務に精通した職員の配置をしては

どうか見解を伺いたい。

また、部長及び課長の任用時の立候補制と本人の意思を尊重した希望降格制度の導入を提言したい。課長や部長になったら降格をしないということではなく、降格することが本人のためにもなるということを考え、こうした制度を創設するべきであると思うが所見を伺いたい。

さらに、職員の施策提案制度や政策立案能力などを高めるための複数の人数によるグループが、行政運営の効率化や地方自治の課題研究に取り組む場合の補助制度等の設立も職員のやる気を助長する方策として考えるべきであると思うが、考えを伺いたい。

A 総務部長 業務は市民サービスの基本となる部門であるため、所属先の職員の経験年数による人員構成などを考慮の上、当該部門の経験がない職員を可能な限り配置することとしている。

管理職への任用については、これまでの実績及び能力等の評価に基づいて任用している。円滑に行政運営を進めるためには、本人の職務に対する意欲が重要であるので、管理職任用時の立候補制及び希望降格制度

の創設に当たっては、今後、職員との面談を実施する中で、職員の実情を把握するとともに、他市の状況などを調査しながら検討してまいりたい。

職員資質向上のためには、従来の研修専門機関への派遣研修に加え、来年度から新たな試みとして、職員が今後のまちづくりについて、自主的に研究する活動を支援する「まちづくり自主活動支援事業」を予定している。この事業は、複数人数で組織した職員グループが、自発的に行う研究活動に係る旅費・講師謝礼・参考図書代等の経費を助成するものである。この事業を通して、職員自己啓発意欲及び市政参画意識を高めるとともに、組織の枠を超えた職員相互の協働体制の強化を図りながら、新たな政策提案の創出並びに職員資質の向上になお一層努めてまいりたい。

【菊池議員 他の質問事項】
・観光協会の一体化について



深谷秀峰 議員

1 施政方針について

Q 施政方針の中で、若者定住策や結婚問題、子育て世代の市外への流出の対策を伺いたい。

また、新規雇用創出を図っていくと述べられているが、その内容と波及効果について伺いたい。

A 市長 若者の定住化にかかわる施策については、市内の少子化対策プロジェクトにおいて検討を行っているが、子育て世代が市外へ転出していかないように、また、一度転出しても戻ってこられるような施策についても検討しているところである。一端を申し上げると、平成21年度に建設を予定している市営磯部町団地の建てかえに当たっては、若い世代やお子様をお持ちの皆様の意見を聞いて、これを反映した設計をしたところである。全6棟15戸のうち、

4棟8戸を子育て世代向けに、また、1棟3戸を若者世代向けに建築をすることとしている。

また、結婚対策については、平成19年度から、市内のNPO法人に事業を委託しているが、本年度は5回の交流会を実施し、3月1日に実施したふれあいパーティでは、男女各25名の募集に対して、それぞれ50名を超える応募があり、これまでの活動も含めて、たがいま13組が交際をしている状況にあり、今後とも、結婚相談事業に力を入れてまいりたい。

雇用対策として、「市有林現況調査事業」については、5人で3カ月、「不法投棄廃棄物除去事業」については、14人で6カ月雇用する計画で離職を余儀なくされた労働者に対し、臨時的・一時的なつなぎ就業の機会を提供するものである。

効果としては、今後の市有林の健全な管理を図ることができるほか、不法投棄ごみ回収により自然環境の保全等に資するものと考えている。

また、「常陸太田魅力アップにぎわい交流業務」、「観光土産品等の販売促進戦略研究業務」については、常勤・非常勤を合わせて4名程度の雇用を計画しているところである。

効果としては、歴史的・文化的資源を活用した観光事業、あるいは地

域間交流事業の活性化に寄与するものと思っている。

これだけでは雇用の人数は少ないので、今後とも昨年11月に開設した常陸太田市地域職業相談室も活用しながら、雇用の促進を図っていきたい。

2 「山」の土地利用について

Q ハイキングの入込客や道の整備・管理の状況、散策マップの作成、新しいルートの開拓、山のガイド創設について。また、特用林産物の生産の現状と、地域の団体・グループが特用林産物生産に取り組むための情報提供や財政支援・技術支援について伺いたい。

A 産業部長 市内各所には12のハイキングコースがあり、総延長77.6キロメートル、年間利用者は推計で9万3850人程度。管理は、随時の路面修理と年二、三回の除草と職員による随時の巡回パトロールを行っているが、これからも、新たなハイキングコースの開拓や整備に努めてまいりたい。

また、ハイキングコースや周辺施設の紹介をあわせた案内マップの作成を初め、案内人の創設をしながら

効果的なPRを行ってまいりたい。

特用林産物の生産状況は、主にシイタケの生産がなされている。生産農家は16件で、販路は公設市場出荷と直売所を通じて販売している。

その他、葉ワサビ、ワラビ、タラノメなどの山菜や木炭などが生産されているが、いずれも生産量は少量であり、それぞれ直売所やイベント等で販売している状況である。

今後は、地域の特性を生かした特用林産物の生産振興の起爆剤となるようなモデル実施場を設け検証してまいりたい。現在での類似取り組みは、里美地区河原野森林環境整備クラブによる葉ワサビの栽培、小妻地区里山林間活用グループによる、行者ニンニク、ナメコ栽培などである。

今後も、森林・林間・里山等の地域資源を活用した市民協働による元気の出る事業を積極的に推進してまいりたい。また、地域特産物を活用した都市との交流については、地産地消推進事業、グリーンツーリズム、イベント事業等を通じて展開してまいりたい。特産品の生産流通、都市交流事業は喫緊の課題として推進してまいりたい。

【深谷秀峰議員 他の質問事項】
・公共交通体系の整備について



宇野隆子 議員

1 市民に信頼される市民生活優先の市政について
1市長の施政方針から

Q 新年度予算で、子どもの医療費助成を中学3年まで大きく拡大。妊婦委託健診の拡充や小学校3校への図書司書配置、木造住宅の耐震診断士の派遣など、子育て支援や少子化対策、教育環境整備や暮らしへの支援などの市民が安心して暮らせる施策が前進することは評価する。市民生活の深刻さが日々増しているもとの、公共工事の地元業者への発注比率の引き上げ、「地域協働」「市民協働」、農業再生の問題、温暖化防止対策など、市民に信頼される市政運営・役割について伺いたい。

A 市長 公共事業と雇用対策として、公共事業の発注にあたり、入札制度は、すべての業種の2000万

円以上の工事で、大規模な工事以外は市内業者であることを要件としている。2000万円未満の土木建築工事においても、原則市内業者を指名し、競争入札を実施し、極力市内の業者を使うという考えである。

市民協働推進体制づくりについては、「市民協働のまちづくりを考える会（仮称）」を立ち上げ、地域の実情等を鑑み、市民活動をしやすいとする仕組みづくりを市民とともに検討してまいりたい。

農業再生については、現在、市が地場産品の普及拡大を進めている地産地消の施策をさらに推進し、市民へ安全・安心な農産物の供給拡大を図るとともに、当市の基幹産業である農林業の育成を進めることにより、食料自給率の向上を推進してまいりたい。国の政策と当市の施策と合致するものについては、積極的に取り組んでまいりたい。さらに、新規の就農者については、新規就農者が地域に定住できるような、力強い農業支援策を打っていく必要がある。

環境基本計画を策定して、具体的に今後どのように進めていくかについては、市民環境会議を設立し、市民全体で環境対策に取り組むような機運を醸成してまいりたい。市民の生活と安全等を守ることが第一の使命であり、できることはやりたい。

2 特定健康診査と保健指導について

Q 新しく始まった特定検診が昨年9月で一巡した。特定保健指導実施計画書による実施状況、メタボリックシンドロームの該当者などへの保健指導について伺いたい。新たな国民病といわれている慢性腎臓病の予防について、国民の400人に一人が人工透析を受けるようになると予想されている。慢性腎臓病予防と特定検診の内容を充実させるために、血尿酸と血清クレアチニンの検査は必須である。検査項目に加えるべきと思うが、見解を伺いたい。

A 保健福祉部長 特定健康診査については、合計3686名が受診し、受診率は、目標値40%に対し31%であった。結果については、受診後3週間程度後に受診者のもとへ送付した。特定健康診査の結果により、内臓脂肪の蓄積を基本として、階層化された対象者に対しては、結果通知と同時に特定保健指導の案内状を送付した。特定保健指導は、リスク要因数によりグループ分けし、各地区の保健センターなどにおいて生活習慣

の改善に向けた取り組みを行っているところである。

腎機能の検査項目である血清クレアチニン検査、血尿酸検査の問題についても検討を進める段階から懸念される問題として、市独自の追加項目の可否の議論を行ってきたところであるが、まずは、特定健康診査の実施体制の確立を優先すべきとして実施を見送ることとした。検査項目の追加は、実施対象や実施方法、健診費の負担の問題など、課題が多く、引き続き今後の検討課題としたい。

保健指導の体制については、現状の健康づくり推進における保健師・管理栄養士などにより、対象者への保健指導を実施してまいりたい。

【宇野議員 他の質問事項】

- ・ 指定管理者制度の問題と対策について
- ・ 情報公開と電子メールの保存について
- ・ 国民健康保険税の減免制度拡充について
- ・ 介護保険の状況とサービスの充実について
- ・ 市営住宅の家賃の決定等について
- ・ 商店会の街灯の維持管理費の助成について



高木 将 議員

1 施政方針について

Q 施政方針の中で、あつたかコミュニティが育む住みよい環境づくりということが述べられた。

現在、市役所南側の駐車場に障害者の方の専用駐車場が設置されてはいるが、玄関までの距離が遠く、雨風の強い日等は移動に苦慮している状況であり、高齢者や障害者の方にあたたかな市政運営をお願いしたいという観点から、駐車場再整備への考えを伺いたい。

併せて障害者の方にやさしい庁舎、公共施設整備の中で、本庁1階にオストメイト対応のトイレの設置がされたが、支所及び他の公共施設等への整備の考えについて伺いたい。

A 市長 平成19年3月に作成されている常陸太田市「障害者計画・障害福祉計画」の基本目標の一つに、

「人にやさしいまちづくり」を掲げており、年齢や性別、あるいは障害の有無に関係なく、誰もが使いやすい公共施設の整備・改善をすることとしている。

庁舎南側の障害者用駐車場は、車止めの段差が約5センチ、れんが敷きの通行帯(約20メートル)がある状況で、障害者や車いす利用者の利便性を高めるために、平成21年度に庁舎と南側駐車場の間に障害者用の駐車場を新設することとしており、その際、段差の解消や専用通路の改修等も行ってまいる予定である。

オストメイト対応トイレについては、本庁舎に1カ所、水府支所に2カ所、水府総合センターに4カ所設置している。今後、未設置の金砂郷支所について障害者用トイレがないために大規模な改修が見込まれるが、設置に向けて検討してまいりたい。

また、里美支所については、現在の障害者用トイレを改修して、できるだけ早期に設置してまいりたい。

なお、公共施設等の中には、まだオストメイトへの対応等がされていないところもあり、更には、構造物周辺の地盤沈下等により、段差や勾配がついてしまっているようなところもあるので、計画的に補修して、人にやさしい公共施設づくりに努めてまいりたい。

2 運動公園の再整備について

Q 山吹運動公園水泳プールはこれまでも修繕されてきたが、いずれ大規模改修または建て替えをしなければならぬ時期が来ると考えられ、建て替え等に当たっては、長期にわたる資金計画が必要であると共に費用対効果についても考慮しなければならぬと思っているが、考えを伺いたい。

また、体育館の建て替えと少年野球場の拡大再整備の考えについても伺いたい。

A 教育長 山吹運動公園水泳プールについては、昨年3038人と多くの方のご利用をいただいた状況にある。

施設は古くなっているが、当分の間は修理・修繕をして開設してまいりたいと考えている。

学校施設検討協議会において、将来の学校プールについても答申をいただいているが、費用の問題から今後新しいプールに作り替えることは考えていない。

学校間の共同使用、あるいは地理的な条件によるが、例えば、近くの

温水プール等にバスで送り迎えをしながら、そこで専門的なインストラクターによって指導を受けてもらうことも視野の中にいれている状況である。

体育館の建て替えについては、今後、市役所内部に検討会を立ち上げ、体育館の建て替えを含め山吹運動公園全体の整備の方向性を検討してまいりたいと考えている。

山吹運動公園の少年野球場については、現在の位置の中ではなかなか拡大ができない状況にある。

山吹運動公園については、築30年以上経過しており、施設の老朽化、あるいは地盤沈下、さらには施設によつては現在のニーズに合わない点も出てきている状況にある。

したがって、更なるスポーツ振興という面から、あるいはスポーツを通じた交流人口の増加など、今後予想されるさまざまな課題を見据えた将来の山吹運動公園のあり方や方向性をしっかり定め、その視点から各施設等について論じる必要があると認識をしており、次年度に内部で検討会を立ち上げていく考えである。

【高木議員 他の質問事項】
・「農商工連携」について

3月定例会 常任委員会の審査から

総務委員会

総務委員会では、条例の制定1件、条例の一部改正4件、条例の廃止1件、一般会計補正予算1件、計7件の審査を行った。

審査の中で、「常陸太田市手数料条例の一部改正」では茨城県まちづくり特例市の指定を受けることにより県から市に移譲される事務・権限とその影響について、「平成20年度常陸太田市一般会計補正予算（第8号）」では、市民バスの運行状況、プラトリーさとみ施設改修工事に関して今後の経営計画などについて質疑があり、付託された7議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

【委員会構成】

委員長	菊池伸也	委員	福地正文
副委員長	沢島 亮	"	荒井康夫
委員	高木 将	"	深谷 涉
"	平山 伝	"	"

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の制定1件、条例の一部改正5件、特別会計補正予算2件、請願1件、計9件について審査を行った。

審査の中で、「常陸太田市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定」では、基金の使途、交付金の算定方法について、「国民健康保険

条例の一部改正」では、児童福祉法改正により国民健康保険の対象外となる常陸太田市の居住者とその背景等。「医療福祉費支給に関する条例の一部改正」では、対象年齢の拡大・所得制限の撤廃による費用額の変化について、「介護保険条例の一部改正」では、基金取り崩しを含めた保険料の設定の経過について、「学校給食センターの設置及び管理に関する条例の一部改正」では、条例改正の背景さらには

食育教育の推進について、「国民健康保険特別会計補正予算第3号」では、予算減額となったことについて医療給付費の当初予算見積りの過程について、「介護保険特別会計補正予算第3号」では、高額介護サービス費、委託料が補正となった背景について質疑があり、「介護保険条例の一部改正」については賛成多数。その外7議案について全会一致で原案可決すべきものと決定した。また、請願第1号「介護保険に関する請願」について継続審査すべきものと決定した。

【委員会構成】

委員長	山口恒男	委員	関 英喜
副委員長	益子慎哉	"	"
委員	宇野隆子	"	茅根 猛
"	立原正一	"	平山昂邦

産業水道委員会

産業水道委員会では補正予算1件について審査を行い、委員会終了後に市内直売施設の現地視察を行った。審査の中で、常陸太田市簡易水道

事業特別会計補正予算第3号」では、工事請負費の減額等補正内容、委託料では中央監視システム導入の進捗状況について質疑があり全会一致で原案可決すべきものと決定した。

現地調査では、茨城みずほ農業協同組合の「里美農産物直売所」「物産センターこめ工房」を訪問し現状説明を受けた後、意見交換を行った。

【委員会構成】

委員長	川又照雄	委員	小林英機
副委員長	深谷秀峰	"	後藤 守
委員	梶山昭一	"	木村郁郎

建設委員会

建設委員会では、委託契約の締結2件、市道路線の変更・認定について各1件、補正予算4件、計8件について審査を行った。

審査の中で、「水郡線常陸太田駅改良工事全体委託契約の締結」では、委託金額の積算根拠、駅舎及びその周辺整備計画の概要について、「下水道事業特別会計補正予算」では、大里町の下水整備状況について質疑があり、「水郡線常陸太田駅改良工事全体委託契約の締結」「水郡線常陸太田駅改良工事平成21年度委託契約の締結」については賛成多数。その外6件については全会一致で原案可決すべきものと決定した。

【委員会構成】

委員長	成井小太郎	委員	黒沢義久
副委員長	高星勝幸	"	片野宗隆
委員	生田目久夫	"	鈴木二郎

予算特別委員会 3/16・17 平成21年度一般会計・特別会計9件・企業会計2件を審査

平成21年度の各会計予算について、12人の予算特別委員が選出され審査を行った。

一般会計の歳入面では、各種市税の収入状況、ふるさと納税による寄附など、歳出面では、事務効率化と委託料の縮減圧縮、工事等の債務負担行為の内容、各種市補助事業の予算内訳、市債の状況として過疎対策事業・合併特例事業債の内容、保険センター移転補償費、地産地消推進事業等について質疑がおこなわれた。国保会計では、保険料等歳入額の積算根拠、他会計繰入金、人間ドックなど保険事業の充実等について。後期高齢者医療特別会計では、保険料の徴収方法等について。介護保険特別会計では、成年後見制度利用支援事業、介護認定審査会の要介護審査判定方法の変更等。戸別合併処理浄化槽設置整備事業特別会計では、浄化槽の管理体制につ

いて。さらにその外の会計についても質疑が行われ、「平成21年度常陸太田市一般会計予算」「平成21年度常陸太田市民健康保険特別会計予算」「平成21年度常陸太田市介護保険特別会計予算」「平成21年度常陸太田市工業用水道事業会計予算」については賛成多数、その外全8会計の予算について全会一致により原案可決すべきものと決定した。

委員長	高木 将	委員	成井小太郎
副委員長	菊池 伸也	"	深谷 秀峰
委員	宇野 隆子	"	益子 慎哉
"	川又 照雄	"	鈴木 二郎
"	山口 恒男	"	深谷 涉

請願・陳情

件名	提出者	結果
請願第1号 介護保険に関する請願	茨城県水戸市城南3-15-24 みのわビル3F 茨城県社会保障推進協議会 代表委員 渋谷 敦司 【紹介議員 宇野 隆子】	継続審査
陳情第1号 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書に関する陳情	「協同労働の協同組合ネットワークいばらき」準備室 代表 横山 哲平	報告
陳情第2号 市民の為の公平・公正な生活交通の制度化を求める陳情	特定非営利活動法人 アイタク太田 理事長 中嶋 好 外80名	報告

議会運営委員会 1/19、2/5・17、3/5・10

第1回臨時会、第2回(3月)定例会の会期・日程、議員提案等について協議

1/19には、3月定例会の会期について協議し、本会議に諮ることとし、「広報ひたちおた」と及び市民バスへ掲示することとした。2/5には、第1回臨時会の会期・日程・提出案件・議案質疑の発言通告期限について。2/17には3月定例会の日程、提出案件、委員会付託議案、一般質問・議案質疑の通告期限及び発言時間、予算特別委員会の設置について協議。3/5一般質問発言通告者、請願、陳情の取り扱いについて協議。3/10最終日目の日程について協議、人事案件・茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙立候補者、選挙管理委員及び補充員選挙の方法について協議を行った。

委員長	後藤 守	委員	小林 英機
副委員長	益子 慎哉	"	川又 照雄
委員	梶山 昭一	"	山口 恒男
"	立原 正一	"	荒井 康夫

常陸太田市選挙管理委員及び補充員の選挙の結果

平成21年3月31日をもって任期が満了となることに伴い本会議(3月18日)において選挙が行われ、次のとおり当選人が決定しました。

常陸太田市選挙管理委員	補充員
柴田 稔 氏	和田 修 氏
吉村 陽子 氏	根本 健 氏
豊田 正名 氏	澤野 圭二 氏
荒蒔 信昌 氏	仲田 征 氏

議 会 日 誌

17日	2月5日	2月22日	1月19日
公明党議員視察来訪	茨城県市議会議員研修会 茨城県市議会議員視察来訪	茨城県市議会議員視察研修 議会だより編集委員会・議会 運営委員会	議会運営委員会 全員協議会・議会だより編集 委員会・茨城県市議会議長会 定例会・安城市議会公明党議 員団視察来訪
25日	18日	17日	16日
中野区議会議員視察来訪	本会議(閉会)	予算特別委員会	予算特別委員会
13日	12日	11日	10日
産業水道委員会・建設委員会	総務委員会・文教民生委員会	本会議(議案質疑)・全員協議会	委員会
9日	8日	3月5日	3月18日
本会議(一般質問)	本会議(一般質問)・議会運営 委員会	本会議(開会・議案説明)・ 臨時議会	臨時議会

編集後記

市民の皆様には、いかがお過ごしでしょうか。「常陸太田市議会だより」第116号をお届けいたします。

本号では第1回臨時会、第2回市議会定例会の主な内容を掲載いたしました。第1回臨時会、第2回定例会においては、平成21年度当初予算を含む合計51件を議決。一般質問においては、施政方針についてを含め9名が質問に立ち議論が交わされました。議会だよりを通して議会の内容を分かりやすくお伝えし、皆さんに議会に対する理解と関心を深めていただくため、編集委員一同努力してまいりますので、なお一層のご支援をお願いいたします。



平山 伝 議員

茨城県市議会議長会から表彰状
茨城県市議会議長会定例会において、平山伝議員が在籍15年以上として、多年にわたり地方自治の進展と市政の向上に貢献されたことにより表彰されました。

市議会だより編集委員会

委員長	黒 沢 義 久
副委員長	茅 根 伸 也
委員	山 口 恒 男
"	川 口 恒 男
"	後 藤 哲 郎

この議会だよりは再生紙を使用しています